

霜柱が薄っすらと地面を覆い、吐く息の白さに真冬を感じる季節となりました。冷たい朝ですが、澄んだ空気を吸い込むと胸にしみ渡り、気持ちが一瞬バリッとするこの時期。年度末も控え、学校では総合学習などもまとめの時期にきているのではないのでしょうか。

このニュースレターは、新しいユニークな試み・耳寄りの情報を、学校や地域でワークショップを实践している方々にお届けしています。

TIA国際理解教育事業

1 世界がもし100人の村だったら05版

TIAでは去る12月3日(土)、豊田中央図書館との協働事業の一つとして上記タイトルで国際理解教育セミナーを行いました。

セミナーでは平野木恵さん(西三河国際理解教育情報センター主宰)の進行により、現在3巻まで刊行されている『世界がもし100人の村だったら』(マガジンハウス ~)を下敷きにした約3時間のワークショップが展開されました。参加者は20人。小学生・中学生から年配の方に至る男女の皆さん。NGO団体や国際交流協会のボランティア・会社員・学生など所属先もさまざま。参加型形式を取り入れ、グループワークを中心に進めたので、皆さんすぐに打ち解け、図書館の多目的ホールは賑やかな空間となりました。

ワークショップのプログラム

- 1 わたしとあなたからまず知り合おう
- 2 世界をながめてみよう
 - ・世界地図からみえること
 - ・さまざまな統計数値からみえるもの
 ~世界がもし100人の村だったら~より
- 3 わたしたちと世界との関わり
 - ・富の分配の不平等を実体験
 「私たちの班にはジュースがない?!」
- 4 気づいたことをメッセージカードに書こう
 - 以上、当日のレジュメ(平野さん作)より

参加者同士のバックグラウンドが垣間見える自己紹介の後、世界地図が登場。でも、ちょっと待って。その地図、学校の社会科の時間などで目にしたものとは違う?! ざわめきの中、小学生の「大きさが違うよ」という声を皮切りに、次々と意見が飛び交った。この地図はピーターズの地図といって大陸の面積を重視し、縮尺したもの。アフリカや南米の大陸が大きくて壮観だ。

この後は大陸ごとの人口比で分かれたグループでワーク。ここでも意外な数字が次々と明らかになり、考え込み、智恵を絞る参加者。中身の濃い13時間を過ごした後、カードにメッセージを作成しました。

2 TIA情報コーナー



TIAには、訪れる人々が情報を得たり、共有したり、提供したりすることができるスペースがあります。

主に4つのコーナーから成るそれは、「各種ちらし・お知らせ(日本語)」、「同(各国語)」、「掲示板」、「雑誌・資料閲覧」に分かれています。

活用頻度が高いのが「掲示板」。ここには求人や催し物のお知らせが各国語で所狭しと貼られています。大きさは最大A4版、掲示期間は最長2か月、事務局の確認・押印が原則。用紙は事務局にも常備していますので、ご希望の方はお申し出を。

ちらしやパンフレットに加え、「雑誌・資料閲覧」コーナーには、近隣や先駆的の事業に取り組む国際交流団体、NGOのニュースレター、留学情報誌なども備えています。事務局隣の会議室の一角にあるこの空間は意外と知られていませんが、ボランティアグループが打合せなどで使用する時以外は、いすや机もありますので、ゆっくりと閲覧することが可能です。ご利用の際は、事務局に一声お願いします。ちなみに、ご利用時間帯は午前9時から午後5時45分(月曜除)まで。資料によっては貸し出しも可。詳細は職員にお尋ね下さい!



3 TIA新着図書資料紹介

『グローバルゼーションとは何か? 多国籍露天商でなりあがれ!』

(エル=フィスゴン著・後藤政子訳 明石書店刊)



難しそうなタイトルに続く少しシニカルな副題に思わず目をひかれる本書。マンガ形式なので、300ページの厚さも気にならず、一気に読み進むことができます。

経済のグローバル化に潜む大きな「落とし穴」。その「穴」は国境を越え、世界中に掘られ、いつ・誰が落ちてもおかしくはない。もっとも、落ちる危険性が高いのは、専ら清貧な庶民なのだから、「自己責任」という4文字で片付けられてしまうのだろう。グローバル化に潜むそんな危険を、歴史を遡りながら、シンプルに語る著者はまさにストーリーテラー。ヘタなオカルトよりも震撼する現実をさらっと提示する本書は、来るべき未来社会への警告の書でもあります。

「官から民へ」を声高に唱える某国は、多国籍企業の絶好の市場として自ら国を差し出す構え。こんな事態にどう向きあえばよいのか。指南書として一読の価値あり、です。



これからのセミナー案内

『まるごと中国講座パート1』

豊田市には、1800人を越える中国出身者が暮らしています。TIAでも05年4月から週に一度中国語相談員を配置し、生活相談や広報等で中国の方々への市民サービスを開始しました。本セミナーでは、02年度から豊田市に住む外国人市民の上位出身国を取り上げ、今回で3国目となります。

中国は広大な国土を有し、多民族・多言語の文化的多様性に富んだ国です。セミナーでは中国のお正月(旧正月)の祝い方を中心に、家族が集まるこの国民的大行事における代表的な料理を作り、意外なこぼれ話に耳を傾けながら、隣人の文化への理解と尊敬を深めていけたらと考えています。お友達やご同僚・親子で是非ご参加下さい!

日 時 : 2006年2月25日(土) 午後1時30分 ~ 午後4時30分
場 所 : きらっ とよた(豊田市産業文化センター内2階)
講 師 : 李 萍蘭さん(中国青海省出身・TIA中国語相談員 / 講師)
参加費 : 1000円(資料代・食材費など)
持ち物 : ふきん・エプロン・麺棒
定 員 : 20人(人数に達し次第締切)